

中学生への準備問題

(小学生のための算数基礎)

※中学に入学してから授業がわからなくならないように、今から小学校の基礎計算を確認しておこう！また、中学で必要になる思考に触れておこう！

1. 四則計算(+ - × ÷) 解答編

1. $3 + 19 = \underline{22}$

2. $13 - 5 = \underline{8}$

3. $3 \times 13 = \underline{39}$

4. $15 \div 3 = \underline{5}$

5. $25 \times \frac{2}{5}$
 $= \frac{25 \times 2}{1 \times 5}$
 $= \underline{10}$

6. $12 \div \frac{3}{4}$
 $= \frac{12 \times 4}{1 \times 3}$
 $= \underline{16}$

7. $3 + \frac{3}{7} = \frac{3 \times 7}{1 \times 7} + \frac{3}{7}$
 $= \frac{21}{7} + \frac{3}{7}$
 $= \underline{\frac{24}{7}}$

8. $\frac{7}{8} - \frac{1}{3}$
 $= \frac{7 \times 3}{8 \times 3} - \frac{1 \times 8}{3 \times 8}$
 $= \frac{21}{24} - \frac{8}{24}$
 $= \underline{\frac{13}{24}}$

9. $0.3 \times 1.4 = \underline{0.42}$

10. $201.1 - 199.8$
 $= \underline{1.3}$

11. $132 - 9 \times (3 + 6)$
 $= 132 - 9 \times 9$
 $= 132 - 81$
 $= \underline{51}$

12. $3 \times \frac{5}{12} + (3 + 2) \div \frac{15}{2}$
 $= \frac{5}{4} + 5 \times \frac{2}{15}$
 $= \frac{5}{4} + \frac{2}{3}$
 $= \frac{15 + 8}{12}$
 $= \underline{\frac{23}{12}}$

2. 思考問題

問 1 から100までの数をすべて足すといくつ？

※考え方や途中式もすべて記入しましょう！

やり方A 一つずつ足していく。

やり方B 数の性質を利用して考える。

まず、1 から100までの数を2セット用意する。

1つは、1 から順番にもう1つは100から順番に並べる。

1	2	3	4	100
100	99	98	97	1

101	101	101	101	101

上下の和 101が100個できるので

1から100までの数2セット分の和は、 $101 \times 100 = 10100$ となる。

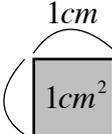
これより

1から100までの数1セット分の和は $10100 \div 2 = 5050$

詳しくは体験授業へ！

答え. 5050

やり方C 図形として考える。

数字の1と面積の1平方を同じと考える。 $1 \rightarrow 1cm$ 

例：1～5までを足す場合

下のような階段状の図形ができる。

